

# TOTO

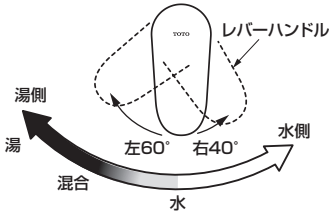
## 施工説明書

### シングルレバーカートリッジ

THF34-1型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

#### 温度調節の仕方



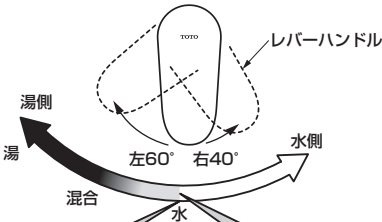
**レバーハンドルを回す。**  
中央より右側に回すと水、左側へ回すと次第に温度が上がります。  
左側いっぱい回すと、最高温度になります。

#### エコシングル

台付シングル混合水栓は「エコシングルカートリッジ」を搭載しています。よく使うレバー中央位置では水を吐水することで、気づかずに湯が出たり、給湯機が着火するのを防ぎます。(無駄なお湯やエネルギーを使わないための機能です)

お湯が必要な場合は、レバーハンドルを中央より左側に回してください。

水のみ位置、湯を使い始める位置をクリック感が教えてくれます。



## 1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

**注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- 禁止 (No) は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
- 必ず実行 (Mandatory) は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

<b>注意</b>	カートリッジやクリックユニットは、絶対に分解しない特殊組立をしておりますので、破損します。	
<b>必ず実行</b>	カートリッジを取り外す際は、必ず止水栓または元栓を閉めてから行う。湯水が噴き出して、やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

## 2 部品の確認

<ul style="list-style-type: none"> <li>ねじ M4×12</li> <li>樹脂 ワッシャー</li> <li>止めねじ M5×6</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※カートリッジおよびプッシュとパッキンは一体になっています。</li> <li>※外さないこと</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>水栓の種類によってどれかを使用します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プッシュ ※外さないこと</li> <li>シングルレバーカートリッジ</li> <li>パッキン ※外さないこと</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>クリックユニット</li> <li>施工説明書</li> </ul>	

## 3 取り付け前に

カートリッジの交換には次の工具が必要です。事前に準備ください。

<p>モーターレンチ</p>	<p>精密マイナスドライバー</p>	<p>マイナスドライバー</p>
<p>六角棒レンチ (対辺3mm)</p>	<p>六角棒レンチ (対辺2.5mm)</p>	<p>専用工具(別売品: TZ36) ※TLG04309型にのみ使用します</p>

## 4 取替方法 水栓の種類により、取替方法が異なりますので、ご注意ください。

対象品番	TLC32型	TLS013・TLS043・TLG013・TLG023・TLG043型
<b>1 止水栓、または元栓を開める</b>	湯側・水側の止水栓または元栓を閉める。	
<b>2 レバーハンドルの取り外し</b>	①レバーハンドル上面のインデックスをマイナスドライバーで取り外す。 ②ねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外す。 ③レバーハンドルを上方向へ引き抜く。	①レバーハンドル正面のキャップを精密マイナスドライバーで取り外す。 ②キャップを外した穴の奥にある止めねじを六角棒レンチ(対辺2.5mm)で取り外す。 ③レバーハンドルを上方向へ引き抜く。
<b>3 本体カバーおよびカバーの取り外し</b>	カバーを反時計回りに20°ほど回転させて引き抜く。 カバーが固く回転しにくい場合は、カバーの切り欠きにマイナスドライバーなどを当てて回してください。	カバーを反時計回りに回転させて取り外す。 カバーが固く回転しにくい場合は、ゴム手袋を着用するなど、カバーとの摩擦を大きくして回してください。
<b>4 クリックユニットの取り外し</b>	クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。	クリックユニットを精密マイナスドライバーで取り外す。クリックユニットが外れないときは、5 カートリッジ押さえの取り外しを、クリックユニットが付いたまま行うことで、カートリッジ押さえとクリックユニットが一緒に外れます。
<b>5 カートリッジ押さえの取り外し</b>	①ねじ(3本)を六角棒レンチ(対辺2.5mm)で取り外す。 ②カートリッジ押さえを取り外す。	モーターレンチでカートリッジ押さえを取り外す。TLG04309型の場合、専用工具(TZ36)を使用して、ハンドル部本体が回らないように固定してゆるめてください。

裏面へつづく

対象品番	TLC32型	TLS013・TLS043・TLG013・TLG023・TLG043型
6 カートリッジの取り外し	①カートリッジを取り外す。 ②本体のシート面を確認する。シート面に古いパッキンが残っていれば確実に取り除く。	①カートリッジ ②シート面 古いパッキンが残っていれば取り除く 取り外す 本体
7 新しいカートリッジの位置合わせ	新しいカートリッジのレバーの位置を右図の正しい位置にあわせる。倒れている場合はレバーを動かし、正しい位置にあわせる。	正しい位置 <レバーの方向> <レバーの倒れ> ずれている
8 新しいカートリッジの取り付け	新しいカートリッジ(プッシュ・パッキン付き)の下部の突起と本体シート面の穴をあわせて取り付ける。	カートリッジ 突起 シート面 穴 本体 取り付け
9 カートリッジ押さえの取り付け	①カートリッジ押さえとねじ部3カ所の位置をあわせる。 ②六角棒レンチ(対辺2.5mm)で下図の順番でねじを締め付ける。 最初は六角棒レンチの短い方を握って締め付ける。回らなくなるまで強く締め付けてください。(3本) 六角棒レンチ(対辺2.5mm) 正面 ねじ部 次は六角棒レンチの長い方を握って締め付ける。30~60°程度増し締める。	モーターレンチでカートリッジ押さえを確実に締め込む。 TLG04309型の場合、専用工具(TZ36)を使用して、ハンドル部本体が回らないように固定して締め込んでください。 カートリッジ モーターレンチ 押しさえ 締め込む 取り付け <b>注意</b> ●水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。 ●モーターレンチご使用の際は、水栓本体が傷つかないようにしてください。
10 新しいクリックユニットの位置合わせ	新しいクリックユニットの黒い部品と白い部品の位置を右図の正しい位置にあわせる。 <b>注意</b> 必ず新しいクリックユニットを使用してください。	正しい位置 黒い部品の凹部と白い部品の凸部を右図のように揃える ずれている 黒い部品の凹部 白い部品の凸部 後ろから見た図 黒い部品の凹部がずれている場合は黒い部品を動かし正しい位置にあわせる。 白い部品の凸部
11 新しいクリックユニットの取り付け	新しいクリックユニットを取り付ける。 新しいクリックユニット(黒い部品の凹部が後ろ) 正面 取り付け 後ろから見た図 クリックユニットには方向性がありますのでご注意ください。	新しいクリックユニットを取り付ける。 新しいクリックユニット(黒い部品の凹部が後ろ) 正面 取り付け 後ろから見た図 クリックユニットには方向性がありますのでご注意ください。
12 本体カバーまたはカバーの取り付け	カバーを本体に挿入し、約20°時計回りに回す。 <b>注意</b> ●カバーの突起を本体内部の溝とあわせてください。 ●カバーの切り欠きが後側となるようにしてください。	カバーをカートリッジ押さえへ、時計回りにねじ込む。 カバー 切り欠き(後側) 正面 差し込む ねじ込む カートリッジ押さえ
13 レバーハンドルの取り付け	①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。 ②新しいねじを六角棒レンチ(対辺3mm)で締め付け、レバーハンドルを固定する。 <b>注意</b> 必ず新しい止めねじを使用してください。 ③インデックスを取り付ける。 インデックス 後ろ側 凹凸をあわせて取り付ける 本体後側 レバーハンドル	①レバーハンドルを正面にあわせ差し込む。 ②新しいねじを六角棒レンチ(対辺2.5mm)で締め付け、レバーハンドルを固定する。 <b>注意</b> 必ず新しい止めねじを使用してください。 ③キャップを取り付ける。 ①最初は六角棒レンチの短い方を握って締め付ける。回らなくなるまで強く締め付けてください。 ②次に六角棒レンチの長い方を握って締め付ける。30~60°程度増し締める。 ③キャップ ①レバーハンドル 正面 差し込む 止めねじ 六角棒レンチ(対辺2.5mm) 取り付け キャップ
14 動作確認	①必ずレバーハンドルを上下左右に動かして、操作性やクリックの感触に問題がないか確認する。 ②湯側・水側の止水栓または元栓を開ける。 ③水漏れがないか確認する。 ④止水栓で流量調節をする。 <b>最適流量の目安</b> ※レバーハンドルを水側全開・湯側全開にして各流量6~7L/分程度になるように止水栓で調節してください。 8Lバケツの場合：約1分10秒で満水	